感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン (2017 年改訂版) 初版~2020/8/20 更新版 正誤表

記載に誤りがありましたので,お詫び申し上げますとともに下記の通り訂正致します。 (2024.2.23)

訂正箇所	誤	正
オリジナル版 p6 左段下から 6 行目 ダイジェスト版 p6 左段上から 8 行目	日本図書館協会	日本医学図書館協会
オリジナル版 p.11 表 4 基準の定義 [小基準]血管現象の5つめ ダイジェスト版 p.10 表 4 基準の定 義[小基準]血管現象の5つめ	<u>眼球</u> 結膜出血	結膜出血
オリジナル版 p24 表 12 3)腸球菌 + セフトリアキソンの投与 量 ダイジェスト版 p19 表 12 3)腸球菌 + セフトリアキソンの投与 量	+1 <u>日</u> 2g , 1日2回	+1 <u>回</u> 2g , 1日2回
オリジナル版 p55 CQ4	*1 高度リスク群 (感染 しやすく,重症化しや すい患者)には,人工 弁術後,IE の既往,姑 息的吻合術や人工血管 使用例を含む未修復チ アノーゼ型先天性心疾	*1高度リスク群(感染しやすく,重症化しやすい患者)には,1)人工弁術後,2)IEの既往,3) 姑息的吻合術や人工血管使用例を含む未修復チアノーゼ型先天性心
ダイジェスト版 p41 CQ4	患,手術,カテーテル を問わず人工材料を用 いて修復した先天性心 疾患で修復後6ヵ月以 内,パッチ,人工材料 を用いて修復したが, 修復部分に遺残病変を 伴う場合,大動脈縮窄」 大動脈二尖弁を含む	疾患,4)手術,カテーテルを問わず人工材料を用いて修復した先天性心疾患で修復後6ヵ月以内,5)パッチ,人工材料を用いて修復したが,修復部分に遺残病変を伴う場合,6)大動脈縮窄を含む
オリジナル版 p66 CQ5 内 注釈*1 ダイジェスト版 p49 CQ5 内 注釈*1	IE の既往を有する患者 複雑性チアノーゼ性先 天性心疾患,	IE の既往を有する患者, 複雑性チアノーゼ性先 天性心疾患,